

(別紙)児童クラブシステム 機能要件一覧

No.	業務名 (機能名)	機能概要
1	住基情報連携	基幹システムからの住民情報の連携ができること。
2	税情報連携	基幹システムからの税情報の連携ができること。
3	入会業務	次のデータの管理ができること。 世帯情報、児童及び同居家族の氏名、カナ、性別、続柄、生年月日、電話番号、住所、郵便番号、金融機関口座情報、入退会情報、減免理由等、申請異動(入退会等)、メモ機能が管理できること。 また、上記データは前年度の情報がコピー反映できること。
4	検索機能	カナ・漢字・生年月日・電話番号・入会日で検索ができること。
5	基本情報入力	氏名、生年月日等から検索し、基幹システムからデータを取得し登録できること(氏名、フリガナ、住所、性別、世帯情報、生年月日等)
6		年度途中で転校し、学校が変わった場合について、同一人物として処理でき、以前の履歴(調定額、収納額等)が残せること。
7		登録される住所から学校名を自動選択できること。また、手動で登録・修正ができること。
8		新年度申請受付において、継続する児童情報等を一括または個別にデータが引継ぎできること。一度引き継いだ情報のキャンセルができること。
9	住登外者管理	基幹システムからの取得とは別に手動で児童の情報を登録・修正できること。
10	障がい情報入力	児童の障がい情報を登録できること。
11	補足情報入力	DV情報、滞納者との交渉記録、クレーム等が入力できるメモ機能(1児童300字以上)があること。また、当該記録は履歴として登録できること。
12	利用料の決定	登録情報を基に利用料(延長・土曜利用含む)の自動計算ができること。
13		税情報を取得し、減免の算定ができること。
14		きょうだいの減免登録が自動算定でできること。
15		きょうだいの退会により、減免が非適用となった場合はポップアップ通知または再度自動算定されること。
16		利用料などの賦課状況・収納情報が管理でき、1画面上(年度単位)で確認できること。
17		調定処理が随時行えること。
18		収納台帳を賦課年度・賦課年月・処理日で抽出・出力できること。
19		未納一覧を対象年月で抽出・出力できること。
20		過納一覧を抽出・出力できること。

No.	業務名 (機能名)	機能概要
21		入会当初に設定した年間の調定額から変更がある場合は、変更する月が選択できること。(以前の調定額の履歴が残ること)
22		他システム間とのGSV等の連携により、児童手当からの申出徴収に対応できること。
23		市が指定する形式の口座振替依頼データが作成できること。振替FDを作成できること。(DACSに伝送できるものダウンロード作業)
24		口座振替依頼データに当該月分以外の過月分の引き落とし設定が任意でできること。
25		市が指定する形式の口座振替結果データを取り込み、OCRファイルの消込処理ができること。(納付書での納付分と、DACSからのデータを消込処理がきるものアップロード作業)
26		消込処理後、振替不能者を抽出できること。
27		市が指定する形式の納付書を賦課月で抽出・出力できること。
28		市が指定する形式の納付書を児童ごとに抽出・出力できること。
29		誤って登録した納付データのキャンセルができること。
30		誤って登録した還付充当データのキャンセルができること。
31		還付・充当の消込ができ、履歴が残ること。
32		還付・充当処理ができること。充当処理はきょうだい間でもできること。
33		以前登録された口座情報を引用・登録できること。
34		兄弟姉妹の口座情報を引用し、登録できること。
35		調定額関係(未納、過誤納)など、GSV出力ができること。
36	通知書出力	市が指定する様式で各通知書が随時発行・印刷できること。
37		市が指定する様式で各通知書に電子公印を印刷できること。
38		各通知書の帳票は窓あき封筒に対応できること。
39		入会決定通知書を利用開始日ごとで抽出・印刷できること。
40		減免決定通知書を対象年度と決定年月日で抽出できること。
41		各通知書をExcel形式で出力でき、必要に応じてレイアウト調整や通知書内容の編集ができること。
42		入会児童一覧を対象年月で抽出できること。
43	口座情報管理	金融機関(名称・本支店名・金融機関コード等)の登録・更新ができること。
44	ユーザー管理	ID・パスワードを登録し、システム利用者の限定ができること。
45		操作ログを記録し照会ができること。
46		データベースのバックアップ作成ができること。
47	その他機能	児童虐待などで保護を要する家庭など、名簿に注意勧告表示がされること。(以前の履歴が残ること)
48		学年が変わっても同一人物として情報を管理でき、児童の履歴が容易に確認できること。

No.	業務名 (機能名)	機能概要
49		児童数一覧の件数表を出力できること。